

10. また胸の中にあるものが、暴露されるのを。
11. 本当に主は、その日、かれらに就いて凡て知っておられる。

## SURA 101. 恐れ戦く章 [アル・カーリア]

慈悲あまねく慈愛深きアッラーの御名において。

1. 恐れ戦く日（最後の審判）
2. 恐れ戦く日とは何か。
3. 恐れ戦く日が、何であるかをあなたに理解させるものは何か。
4. （それは）人間が飛散する蛾のようになる日。
5. また山々が、梳かれた羊毛のようになる（日である）。
6. それで、かれの秤が（善行で）重い者は、
7. 幸福で満ち足りて暮らすであろう。
8. だが秤の軽い者は、
9. 奈落が、かれの里であろう。
10. それが何であるかを、あなたに理解させるものは何か。
11. （それは）焦熱（地獄）の火。

## SURA 102. 蓄積章 [アッ・タカースル]

慈悲あまねく慈愛深きアッラーの御名において。

1. あなたがたは（財産や息子などの）多いことを張り合って、現を抜かす。
2. 墓に追い立てられるまでも。
3. いや、やがて（死後）あなたがたは（その真実を）知ろう。
4. もう一度言おうか、いや、やがてあなたがたは知ろう。
5. いや、あなたがたは（今に）はっきり知るとよいのである。
6. あなたがたは必ず獄火を見よう。
7. その時あなたがたはそれを明確に目で見ることであろう。
8. その日あなたがたは、（現を抜かしていた）享楽に就いて、必ず問われるであろう。

## SURA 103. 時間章 [アル・アスル]

慈悲あまねく慈愛深きアッラーの御名において。

- 1.時間にかけて（誓う）。
- 2.本当に人間は、喪失の中にいる。
- 3.信仰して善行に勤し・、栗いに真理を勧めあい、また忍耐を勧めあう者たちの外は。

## SURA 104.中傷者章〔アル・フマザ〕

慈悲あまねく慈愛深きアッラーの御名において。

- 1.災いなるかな、凡ての悪口を言って中傷する者。
- 2.財を集めて計算する（のに余念のない）者。
- 3.本当にその財が、かれを永久に生かすと考えている。
- 4.断じてそうではない。かれは必ず業火の中に、投げ込まれる。
- 5.業火が、何であるかをあなたに理解させるものは何か。
- 6.（それは）ぼうぼうと燃えているアッラーの火、
- 7.心臓を焼き尽し、
- 8.かれらの頭上に完全に覆い被さり、
- 9.（逃れることの出来ない）列柱の中に。

## SURA 105.象章〔アル・フィール〕

慈悲あまねく慈愛深きアッラーの御名において。

- 1.あなたの主が、象の仲間に、どう対処なされたか、知らなかったのか。
- 2.かれは、かれらの計略を壊滅させられたではないか。
- 3.かれらの上に群れなす数多の鳥を遣わされ、
- 4.焼き土の礫を投げ付けさせて、
- 5.食い荒らされた藁屑のようになされた。

## SURA 106.クライシュ族章

慈悲あまねく慈愛深きアッラーの御名において。

- 1.クライシュ族の保護のため、
- 2.冬と夏のかれらの隊商の保護のため、（そのアッラーの御恵・のために）
- 3.かれらに、この聖殿の主にならせよ。